

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
420006	X-13-B-3-420006	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
情報システム特論	西山 茂			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	3年	
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	3年	

授業目的

- (1) 現実の社会状況に対する知見を広げるため、産官学等社会で活躍している方を講師に招き、講師の業務分野等のトピックをお話して頂く。また、当該分野での ICT 利用方法等について学ぶ。
- (2) 現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する：履修生自身が組織・運営する複数のチーム（プロジェクト）を編成する。各プロジェクトは役割分担を含む組織構成を決め、問題・課題（目標）設定、スケジュール設定を行い、進捗管理・成果管理法を決め、文書化する。計画に対する進捗を管理しながら活動し、目的達成を図る。15 回目の授業でプロジェクト活動成果を報告する。
- 本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。
- <仕事の仕組みを系統的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。>
- <自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力があること。>

各回の授業内容

第 1 回 【授】授業オリエンテーション 【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）	第 9 回 【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと
第 2 回 【授】外部講師による講義 1 「プロジェクト管理技術」に関する講義 【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）	第 10 回 【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと
第 3 回 【授】外部講師による講義 2 「政府・自治体等の政策・動向」に関する講義 【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）	第 11 回 【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと
第 4 回 【授】外部講師による講義 3 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義 【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）	第 12 回 【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと
第 5 回 【授】外部講師による講義 4 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義 【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）	第 13 回 【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、成果の最終整理、進捗管理 【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと
第 6 回 【授】外部講師による講義 5 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義 【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）	第 14 回 【授】プロジェクト活動 成果報告資料作成 【前・後】成果報告に向けて、プロジェクト内議論、成果資料作成を事前、事後 2 時間行うこと
第 7 回 【授】プロジェクト編成 キックオフ、課題の大枠、プロジェクト内役割分担（組織）の設定 【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）	第 15 回 【授】プロジェクト活動成果発表 【前・後】プロジェクト報告のため、発表練習を 2 時間、事後整理を 2 時間行うこと
第 8 回 【授】プロジェクト活動 プロジェクト計画書策定、計画書レビュー、目的達成のための活動 【前・後】プロジェクト計画書策定、計画書レビューのために事前予習 2 時間、事後 2 時間を充てる	第 16 回 【授】講評とまとめ 試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する 【前・後】プロジェクト報告のため、発表練習を 2 時間、事後整理を 2 時間行うこと

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

- 試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する。
- 外部講師講義受講アンケート及び講義受講レポート提出（各回の講義内容の要点と所感）（5 回）：35%
 - プロジェクト計画書：10%、プロジェクト成果発表：40%
 - 活動態度：10%、及び履修生個々に行う報告時の他プロジェクト評価：5%
 - プロジェクト活動は必須である。プロジェクト評価を個人成績に反映する。プロジェクトメンバに登録してもプロジェクト活動（集団活動）に貢献しなかった者は評価しない。
- <フィードバック法>
- プロジェクトの進捗、方向性については、毎時間各プロジェクトのリーダーに発表させ、その場で教員が講評する。
 - プロジェクト報告については、全報告終了後、時間内に教員が講評する。

教科書参考書

- 教科書はない。毎回、講義スライドのコピーを配布する（HP や Campusmate 等の電子的手段）ほか、必要があれば次回講義に関連する URL 等を紹介する。
 - 各種白書（情報化白書、情報通信白書、情報サービス産業白書、等）、@IT、日経 BP 等の情報サイト
- 受講に当たっての留意事項

- 外部講師講義では積極的質問すること。
- 講義情報、受講レポート、プロジェクトチーム活動は、Campusmate 等電子的手段を活用する。
- 授業時間の外に、レポート作成やプロジェクト活動にある程度の時間をかける必要がある。
- 外部講師講義のテーマ及び授業順序は入れ替わることがある。

学習到達目標

- 5 つの講義テーマ関連領域についての最新の知識を獲得し、その要点を説明できる。（受講アンケートと受講レポートの提出：35%）
- プロジェクトチーム活動を通じて、与えられた制約下での業務の進め方、リーダー役実践によるチームまとめ能力、チーム活動手法などを習得する。（プロジェクトチーム活動及び成果報告：65%）

JABEE

(2017 年度生以前) 関連する学習・教育到達目標：F, G

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習